

施策 5-1-2 豊かな心の育成





(1) 住民意識調査結果

関連項目	満足度	順位	優先度	順位
情緒豊かな児童生徒の育成	-10.7%	32位/全36項目中	77.0%	3位/全36項目中

(2) 地域経営計画書（後期計画）指標

(読書活動、道徳教育の推進)		
指標	基準値	目標値
1か月に読む本の平均冊数	平成21年度 5.6冊	平成27年度 7.0冊
学校で1日10回以上「ありがとう」と言った、言われた児童生徒の割合	平成21年度 —	平成27年度 90.0%
自分と違う意見を尊重している児童生徒の割合	平成21年度 74.1%	平成27年度 80.0%
<p><前期5カ年計画の検証を踏まえた施策展開></p> <p>○児童生徒が、学校生活や様々な体験学習を通じて「感謝の気持ちを持つこと」、「相手の気持ちを思いやる気持ちを持つこと」など、学校教育における情操教育を充実できるような施策展開をしていきます。</p>		
<p><指標に関する特記事項></p> <p>○「毎日10分以上の読書」を平成19年度から実施しており、継続した読書活動を推進しています。指標は国語力（読解力）を高めるため、1ヶ月に読む本の平均冊数を基準値5.6冊から7冊に目標を設定しています。</p> <p>○学校生活において、相手に対する「感謝の気持ちを持つこと」や「相手の気持ちを思いやる気持ちを持つこと」など情操教育の充実を図るために、友達にまた友達から1日10回以上「ありがとう」という言葉をかけること、さらに友達が自分と違う意見であっても否定するのではなく尊重する気持ちをもてるような指導を行っていきます。</p>		

(3) 施策を達成するための主な事務事業

(読書活動、道徳教育の推進)						
事務事業名						
	取組概要	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
○読書活動推進事業						
	<ul style="list-style-type: none"> ・「毎日10分以上の読書」を児童生徒が学校や家庭において、継続して実施します。 ・児童生徒に本と触れ合う機会を増やすよう、学校・図書館・家庭等から促していきます。 	 <p>事業継続（「毎日10分以上の読書」の推進）</p>				
○マイチャレンジ事業						
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学2年生が、町内の職場で短期間の職場体験を実施します。 ・職場体験の振り返りを実施し、将来の職業についての意識を高めます。 	 <p>事業継続（意識の高揚）</p>				
○体験農場事業						
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で水稻や畑作などの農業体験を実施し、作物を育てる苦労や楽しさ、収穫の喜びや食の大切さを教えます。 ・体験用の農地（水田・畑）を借りて、田植えから収穫までの期間、所有者に管理及び作業を委託します。 ・収穫した作物は、授業や学校行事に活用します。 	 <p>事業継続 （食の大切さ、地産地消の理解の促進）</p>				
○夢の教室開催事業						
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校5年生に対し、スポーツ界のトップアスリートを講師に招いて、夢や目標のためにがんばる力を育むための授業を実施します。 ・財団法人日本サッカー協会（JFA）が2007年にスタートさせたもので、トップアスリートが「夢先生」として、自分の体験をもとに、講義と実技を通じて、子ども達に夢を伝えます。 	 <p>事業継続 （夢をもつことの大切さ、仲間と協力することの大切さの授業（講義と実技）の実施）</p>				